

1 事業の成果

新型コロナウイルスの感染法上の分類が令和5年5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下がったことで、高齢者の不安感も軽減され、コロナ前の参加者が戻り活動も回復しました。

また新規受講者を募集する事業も順調に回復し、教室事業及びサークル支援事業もコロナ前の事業規模に戻りました。ただ、感染予防対策はコロナ禍と同じく徹底し活動したことによって、参加を見合わせていた参加者も安心し、年度の後半では一定の受講者数を確保することができました。

年度の事業規模もコロナ前の水準と比較し97%まで戻り、当期正味財産額が8,992,738円と増額でき、来期への活動に繋げることが可能となりました。

来期への期待。

- 1, 行政がフレイル予防対策と「健康マージャン」を認知
- 2, 健康マージャン運営に関心を持つ多くの高齢者の出現

来季への課題

行政からの要望に応えるべく、人材確保が急務となりました。来季は人材確保への明確な予算案が必要

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 77,745 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 一般市民への麻将教室開催事業	公民館をはじめ公共施設において初心者向けの麻将教室を行う。	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	首都圏の公共施設	延べ6800人	一般市民	9万人	60,106
(2) 麻将サークル支援事業	麻将を楽しむための地域サークル活動の助言や用具の貸し出し、講師の派遣等	令和54年4月1日から令和6年3月31日まで	首都圏の公共施設	延べ2900人	一般市民	3万人	17,112
(3) 麻将指導員の認定活動	麻将に関する指導員の試験を行い、指導員としての能力を有する者に認定を与える。	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	公共施設	延べ50人	一般市民	90人	525

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)